



「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日日に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っている。

発行：誇りと夢・まちづくり日新広報部会
文京5-1-8 日新公民館
発行日：2012年3月20日

日新
荷日新 荷に日に新たに
日日新 日々に新たに
又日新 又日に新たなり
出典 「大学」

にっしん

乾徳公園町自治会(グループ化) 発足

わたしたち乾徳公園町自治会は乾徳地区のちょうど中央に位置し、乾公園の周囲をエリアとする静かな住宅地にあります。今年から乾徳13自治会と朝日組自治会が福井市では初めてグループ化を行って、世帯数45の自治会として発足しました。

自治会の名前は自治会の皆様から公募し、複数の名称候補を総会に諮りましたが、自治会の場所がイメージしやすいことが支持され決定しました。

皆さん「自治会のグループ化」をご存知でしょうか？
グループ化と合併の違い、そして目的について紹介します。



1. グループ化と合併の違い
 - 複数の自治会が一つになることは合併と同じですが、会計だけは従来の自治会単位で運営することをグループ化と称しています。
2. グループ化(合併)の目的
 - ・最大のメリットは「災害発生時の対応力強化」です。
 - ・自治会単位に選出される自治会役員などの委員のなり手が増える。
 - ・役員に選出される機会が減少する。(世帯あたりの負担が減少する)
 - ・市からの補助金が3年間支給される。

乾徳地区ではわたしたちのようにグループ化を検討している自治会も多数ありますので、グループ化を実施した経験をお伝えすることで、少しでもお手伝いができればと考えております。これからも乾徳公園町自治会をどうぞよろしく願いいたします。 自治会長 阪口文彦

日新地区の道路冠水地図

日新地区自主防災連絡協議会が作成

日新地区の福井豪雨での道路冠水地図

平成16年福井豪雨で冠水(10~30cm)した日新地区の道路を示したものです。通勤や子どもの登下校、また浸水に備えるなど豪雨災害を防ぐのに役立つように作成しました。

※排水溝の状況、小河川の氾濫などによっても道路冠水状況は変わることがあります。



各自治会長に配布されています。

底喰川 その8

一底喰川ウオーク・底喰川源流を訪ねてー

芦原街道を横切り、福大雑木林を左手に田原町へ、明道中前を通りフェニックス通り(旧国道8号線)へ、そして今もよく水がつくという町屋町・J R北陸線へ。ここまでが1級河川底喰川。底喰川の起点はJ R北陸線である。その上手もやはり底喰川と呼ばれるが、川幅も狭くなり、排水溝といった感じで、地元の人「落とし川」と呼ぶにふさわしい川になっている。さらに東へ北へと進むと枝分かれし、家、屋敷に突き当たるところもあり、コンクリートブロックで蓋われて不明になっているところもある。

高速北陸線下をくぐって東に進むと底喰川の「みなもと・源」が数多くある。最奥部の1つとして紹介できるのが東藤島中ノ郷地籍(旧松岡町と接する)の田んぼの落とし水用排水溝だろう。

(西)

底喰川の源流



ビニール管 排水溝



落とし水が落とし川に

わがまち匠

茶道・華道教授

横山紀子さん(71) 乾徳4

2012年 55歳
いけばな池坊 550年祭

いけばな池坊が華道の理念を確立したのは、室町時代に活躍した池坊専応の時代でした。奇しくも今年には五百五拾年目をむかえ、各地で五百五拾年祭の花展が開催され、日本の文化の風を感じています。

また、自然に恵まれた北陸福井は、京都家元に近いということもあり、池坊いけばなの盛んな土地柄ではないでしょうか。

池坊いけばなには、立華・生花・自由花の三つのスタイルがあります。伝統的ないけ方をするも、空間を現代的に飾るも自由です。生きる草木に思いを寄せて、活ける心を大切に願います。

私には、平成13年から日新公民館で月2回、子ども教室の華道クラブにて楽しい時間があり、日新小学6年生の児童たちとは毎年体験学習の出会いがあります。そこで、少しでも多く伝統文化の良さを伝えたいと思っています。

☆横山さんは、茶道・華道の道50有余年、現在池坊福井中央支部長

異花水仙の立華



子ども教室にて



次期家元と福井展(ベル)で

日新春秋

3月はお彼岸の月です。祖先のことを考えてみずすと、25代週れば3300万人、27代で1億3400万人となり、現在の日本の総人口を超えます。30代で10億人を突破します。せいぜい数百年から1千年の間にそれぞれの身内としてこれだけの祖先が関わっていることとなります。しかも昔は、現代より生活範囲が大変狭かったこととや人口も少なかったことなどを考えてみますと、お互いが共通の祖先を持ち、重なり合いながらの関わりがあることが推測できます。

歎異抄の中で親鸞上人は、「一切の有情はみなもて、世生々々の父母兄弟なり(すべての生きとし生ける者は、生まれかわり死に代わりして、父母となり兄弟となつてきている(早鳥鏡正著 講談社「歎異抄をよむ」より)」と教示しております。そうであるならば、まちづくり日新のような仲間どうし、また日常親しくお付き合いするご近所どうしなど、人と人とのつながりが、こうして強い連鎖で手繰り寄せられるように運命的に付与された縁と想い、そのことを謙虚に受け止め、喜び、そして感謝の誠を尽くすことが、大切なことではないかと思えます。

日新地区
前自治会連合会長
岩堀好男





牧里地区 岡部家
僕たちは家族が一人増えて4人家族。毎日楽しくすごしています。やんちゃな妹だけど、とてもかわいいです。僕は小学4年生。毎日野球の練習をがんばっています。



文里地区 半田家
6人家族で毎日にぎやかか?!に過ごしています。親も子供たちもみんな似ているので、迷子になっても心配はいりません@.@
どこへいっても元気いっぱいです!!

東日本大震災から約1年の月日が流れた。現状の復興状況は、マスコミメディアでしか実感できていないが、確実に進んでいるのだろうと思う。そう1年前3月11日の地震発生後は、元請け会社を通して近畿地方整備局福井河川国道事務所より「災害対策車を東北派遣するとの指示があったので行ってもらえるか」との連絡を受け、翌12日東北に向かった。岩手県一関市より各対策車は、被災現場や避難所に配備され交代で作業に当たった。3月といえどもやはり東北、夜間などは気温も-5℃の悪天候の日もあり毛布にくるまり寒さをしのぐ日々もあった。だが被災者が避難所で避難している状況を目の当たりに見ていると、仕事で来ている俺達がそんな弱音をはいてどうするんだ・・・と奮い立ったのも事実。日時が経つにつれ救援物資が届き、ボランティアによる炊き出しなどが多少なり充実してきてはいたが、やはり日常生活とは遠くかけ離れている避難所生活ではないだろうかと思った。

そんな中被災地にて一番目については自衛隊の活動であった。瓦礫の撤去から行方不明者の捜索、時にはお風呂の提供など、不眠不休で活躍して避難している人たちもきつと心強かったと思われる。助け合い、思いやりなど、やはり現地にて肌で感じた実感だ。普段から地区活動を通して地域コミュニケーションを計ることも防災活動ではなからうかと思う。そして私達は、国土交通省の指示のもと5月中旬頃派遣業務が終了し帰還しましたが、一日でも早い復興を希望いたします。



排水ポンプ車にて排水作業 (石巻北上川下流にて)



被災状況 (石巻)

誇りと夢・わがまち創造事業

交通部会 一 試行運行へ向けて一

交通部会の特化推進事業として「日新コミュニティバス」運行を部員の一致団結で推し進めてきた。最大の「お客様」は、免許を持たない方と高齢者と考え、敬老会でのアンケート調査、健友会新年会でのお願い、回覧による運行ルート・バス停などで周知を図ってきた。

また、一方では、市役所交通政策室との事前打ち合わせ、予定事業者である京福バスの担当者との情報交換、など外部交渉を重ねながら、よりよい「日新コミュニティバス」でありたいと思っている。今後は運行ルートの部分修正、事業者選定などを経て、最大の難関である有識者会議「地域生活交通活性化会議」での審査を受けなければならない。その後、道路運送法の許認可を経て8月の試行運行を目指す予定である。



健友会の新年会で呼びかけ

環境部会 一日新ミニ門松づくり

この事業も今ではほぼ定着し年末になると子どもはもちろん、保護者もその開催を待っています。今年の参加者は30名、約2時間弱で完成。中西正士氏(ふるさと)の導人から、作業の流れや各段階における注意点を学び、製作にかかりました。中には昨年の経験者もいてスムーズに作業をこなせた人もいました。しかし、「男結び」には悪戦苦闘する人が多かったようです。こうして出来上がった「ミニ門松」に皆さん大満足。「新年も新しい気持ちで迎えられる」とつい笑み…。子ども時代の経験は何時までも心に残るものです。これからも大切にしたいものです。

今年は、見事な南天を提供していただき、出来映えにさらに彩りを加えてくれました。ありがとうございました。

なお、前日の準備にご協力されていた「西川光雄氏」がその夜急逝されました。ここに今日までのご尽力に感謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈りします。「合掌」

真剣に実演披露の中西氏



清盛の愛妾“祇王”の屋敷跡が? —お隣り西藤島に—

西藤島小学校の一步手前の西藤島治水公苑内にある。

『平清盛』に寵愛された白拍子(※)祇王は、やがて清盛に飽かれ捨てられ、暇を出され、邸から出て行かなければならぬ羽目に。祇王はただ涙に明け暮れるだけ。祇王は髪を下ろし嵯峨の山寺へ、やがては21歳という若さで世捨て人になってしまった。が、毎日「南無阿彌陀仏」の念仏を唱え、やがて往生の本望を遂げたという。

《なぜここに祇王の屋敷跡が?》

昭和46年に編集された「西藤島村史」は「この地方は、もと平家の所領であった。そのことから考えるに、清盛は三郎丸の地の春米(年貢米)を祇王に与えたので、その頃は「祇王領三郎丸」と言われていたが、やがて「祇王三郎丸」と呼ばれるようになったのでは(略)」「(略)この屋敷は祇王のためにその春米(年貢米)の取りたてをした平家の下司がいたところではないかと考えるものである」(三郎丸には西祇王、東祇王の小字名がある)

大河ドラマに「祇王」は登場するのでしょうか?ひっそりの屋敷跡を訪れてみませんか。

※しらびょうし:平安時代末期から鎌倉時代にかけて起こった歌舞の一種。また、それを舞った芸人。(友田・村上)



文化部 一人一首カルタ会

2月12日日曜日朝10時より開会式があり、50名ほどが6つのグループ(こま、かどまつ、はごいた、たこあげ、かがみもち、たけうま)に分かれてゲームがスタートしました。まず、「ぼうずめくり」からはじまり、「ぼうず」をめくるとため息がもれ、「おひめ様」をめくると歓声があがりました。2回目も坊主めくりでした。3回目には百人一首があつて上の句でとる子がいる一方で、なかなか「とりました」の合図が出ないグループもあるなどいろいろでした。最後にわが日新カルタを昨年に引き継ぎ行いました。それから全員の総合得点を計算してグループの優勝、2位、3位を表彰しました。また、全員が「館玉すくい」をやりゲーム終了。

お昼は2階和室でカレーライスをお願いいただき無事日程完了となりました。

かるたに熱い視線が!

